

## 2 平常時の防災活動

### 1 防災知識の普及・啓発

・地域の防災体制を確立するためには、住民一人ひとりの**防災意識を高めることが重要**です。そのためには、住民の方に最も身近な自主防災組織があらゆる機会に普及・啓発活動を行うことが最も有効的です。

・住民の方に普及・啓発するべき防災知識としては、主に下記のようなものがあります。

#### 防災知識の普及・啓発のポイント

- 家庭での防災対策（自助）が大切であることを理解してもらう
- 自主防災組織の役割と活動内容を理解してもらう
- 自治会の集まりや訓練・講習時など、さまざまな機会を利用し、継続的な知識の普及活動に努める

・防災知識の普及・啓発について、ご不明な点がございましたら、**安全安心課 危機管理係**までお問合せください。

## 2 地域の現状把握

・地域の災害危険箇所を把握し、防災に関する認識を高めることも大切です。そのため、主に下記のような視点から、地域の危険箇所について把握することは、とても有効です。

### 地域の危険箇所把握の視点

- 「大泉町総合防災マップ」を活用し、危険箇所を把握する
- 地域の災害履歴や災害に関する伝承などを生かし、予防・応急活動を行う
- 自治会の集まりや訓練・講習時など、さまざまな機会を利用し、継続的な知識の普及活動に努める



### 3 防災資機材などの整備

・災害時に備え、自主防災組織では、次のような防災資機材を備えておく心安心です。各家庭や事業所などで活用できるものを持ち寄るなど工夫して備えることも有効となります。

・また、防災資機材の定期的な試運転や訓練を通じて、防災資機材の使用方法の確認も必要となります。

・町では防災訓練実施事業、防災資機材などの設備購入事業などにつきまして、一会計年度当たり**30,000円の助成**を行っております。

目的	防災資機材
情報伝達用	ラジオ、拡声器、メガホン など
避難誘導用	赤色灯（誘導灯）、懐中電灯、リヤカー など
救出用	のこぎり、バール、ハンマー、スコップ など
救護用	救急箱、担架 など
給食・給水用	アルファ米、飲料水、鍋・釜 など
初期消火用	バケツ、消火器 など
その他	投光器、発電機、ブルーシート、コードリール など

## 4 避難行動要支援者の支援

・町では、**避難行動要支援者名簿** <sup>※1</sup> を作成し、自主防災組織や民生委員に本名簿を配布しております。自主防災組織におきましては、この名簿を活用し、避難行動要支援者の避難支援を行ってください。

・また、スムーズな避難行動要支援者の避難のため、避難行動要支援者個別計画 <sup>※2</sup> の整備をお願いします。

・風水害時の避難行動要支援者の**避難支援のタイミングは町が発表する避難情報**を基本としますが、避難情報が発表される前に道路が冠水する場合などもあるため、周囲の状況などを十分把握し、**避難情報を待たずに避難支援を行うことも検討**してください。

・寝たきりで介護が必要な災害時要配慮者は、悪天時、屋外を移動させること自体が体調を悪化させる原因となる場合があります。このことを踏まえ、一律に避難所への避難（水平避難）を優先させるのではなく、**状況に応じ自宅の2階以上への避難（垂直避難）や親戚・友人の家などへの避難を選択肢**とすることも必要となります。

### ※1 避難行動要支援者名簿

避難行動要支援者名簿に掲載されている方は災害発生時など自力での避難が難しく、避難行動をとることに特に支援が必要とされる人です。

対象者は、**在宅で生活している人**で、以下の条件の人としています。

- (1) 65歳以上のひとり暮らし高齢者
- (2) 介護保険の要介護3以上の認定を受けている人
- (3) 身体障害者手帳1・2級、療育手帳A、精神保健福祉手帳1級の交付を受けている人
- (4) その他、災害時に支援が必要な人

### ※2 避難行動要支援者個別計画

避難行動要支援者名簿に記載されている方で災害発生時にどのような避難行動をとればいいのかについて、一人一人の状況に合わせて作成する計画です。

## 5 防災訓練の実施

### 1 防災訓練の目的

- ・災害が発生した時に被害を少なくするためには、落ち着いて適切な行動をとることが重要となります。そのためにも災害への対処の仕方を事前に決めておき、適切に行動できるよう、防災訓練を繰り返し行うことが重要となります。
- ・防災訓練を積み重ね、日頃から災害への備えをしておきましょう。

### 2 防災訓練の実施方法

#### ①訓練内容の決定

- ・訓練内容、実施日時、訓練会場を決定します。訓練内容にはさまざまなメニューがありますので、地域で検討し、訓練内容を決定してください。また、救出救護については、定期的に救急救命講習を受講し、応急手当の方法などを確認してください。
- ・訓練内容などについて、ご不明な点がございましたら、安全安心課危機管理係へご相談ください。

#### ②訓練参加の呼びかけ

- ・できるだけ多くの方が各種訓練に参加できるようにする必要があります。防災訓練に参加するということは、自主防災組織の活

動を理解してもらうとともに各種資機材の使用方法を覚えてもらう良いチャンスです。地域の特性に合わせ、防災訓練の中にイベント的な事柄を取り入れるなど、少しでも地域の皆さんが参加しやすくするための工夫が必要です。

- ・西志部自主防災会（旧第29区）では、毎年、防災訓練の実施と併せてバーベキュー大会などを開催し、多くの住民の方が参加しております。

### 3 防災訓練に対する助成制度（再掲：7ページ）

- ・町では防災訓練実施事業、防災資機材などの設備購入事業などにつきまして、一会計年度当たり30,000円の助成を行っております。

#### ■補助金額

一会計年度当たり30,000円

※**宿泊体験型防災訓練**を実施する場合は**50,000円**

